



■ 本間 敏行 副委員長 ■

■ 坂口 邦夫 委員 ■

■ 松下 寿美枝 委員長 ■

■ 大栗 民江 委員 ■

■ 石上 孝雄 委員 ■

- 調査期間 令和5年12月(第4定)～令和6年3月(第1定)
- 調査方法 教育振興課からの聞き取り及び現地調査(2校)
- 調査の様子



- **学校図書館**とは、学校図書館法の規定により、全ての学校（小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）に置かなければならないとされており、**図書や教育メディア、その他学校教育に必要な資料を収集・整理・保存**し、これを児童生徒、教員に利用してもらうことで学校教育に寄与するとともに、**児童生徒の健全な教養を育成することを目的**として設置された学校設備です。

- **学校図書館の機能は、次の3つです**

読書センター機能	学習センター機能	情報センター機能
学校司書が中心になり、子どもの発達に合わせて学校図書館の運営及び選書が行われています。		主に調べ学習の中で活用されている

- **学校司書**は、平成30年度より配置されています。
調査時点では、**5人**の学校司書が**1人で2校を担当**しており、日替わりで**学校へ赴き**、学校図書館の運営や図書を選定(選書)などの業務を行っています。
- **現地調査**で学校訪問を行った際、**学校司書の方々から実際の業務について具体的にお話を伺うことができました。**



■ 担当の説明、現地調査の内容を基に委員相互に議論を行い、次の4つの意見に集約されました。

学校図書の標準蔵書数が平均以下であることや選書の基準について。

教育現場にデジタル化が積極的に導入されている中で、読書の方法に変化は生じているのか。

「読む」ことに困難を抱えている児童生徒に配慮された図書導入について。

学校司書の勤務体制や資質向上に向けた研修について

■ 上記を踏まえ、提言として次の内容を定例会で報告しました。

図書標準達成率の向上に向けた取組を強化すること。

読書に親しむ環境づくりに努めること。

学校図書館と市立図書館及び学校間の図書の相互利用について。

学校司書が働きやすい環境整備に努めること。

■ 調査期間 令和6年3月(第1定)～令和6年9月(第3定)

■ 調査方法 シティープロモーション推進課からの聞取り
都市事例調査(視察)を合わせ調査を行う

■ 関係人口創出に関する国の考え方

人口減少・高齢化により、地域の担い手不足という課題に直面している地方の現状に対し、国では移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、地域の力とすることを目指している。

■ 富良野市における関係人口創出事業

第6次富良野市総合計画の一環として、「富良野につながっている人が増える仕組みづくり」を掲げ、ふるさと納税とワーケーションを重要な施策と位置付けています。

■ ふるさと納税の現状

自主財源の確保、地場産業の振興、地域活性化、雇用創出などの効果が期待され、ポータルサイトを活用した情報発信サイトを活用した地場製品のプロモーションを積極的に行なっており、令和5年度は12万件に迫る寄付が集まっている現状があります。

■ ワークेशन取組の現状

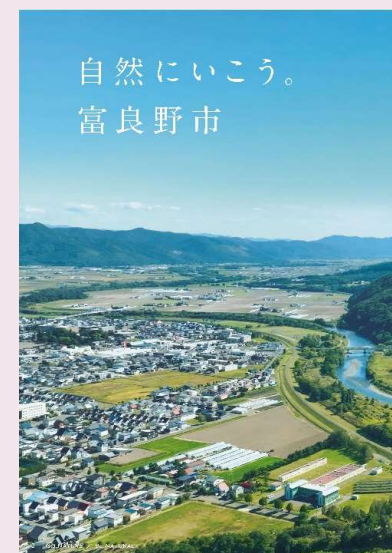
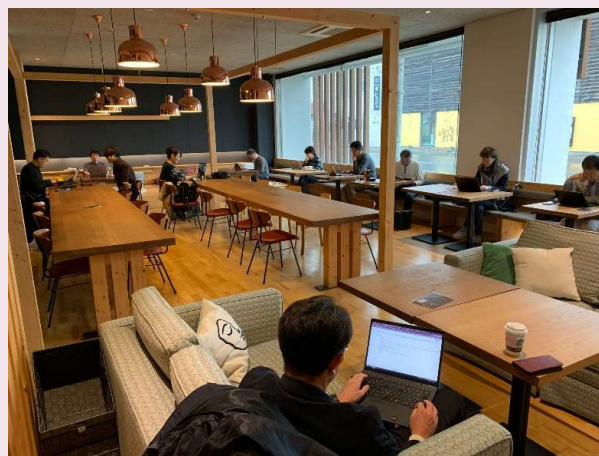
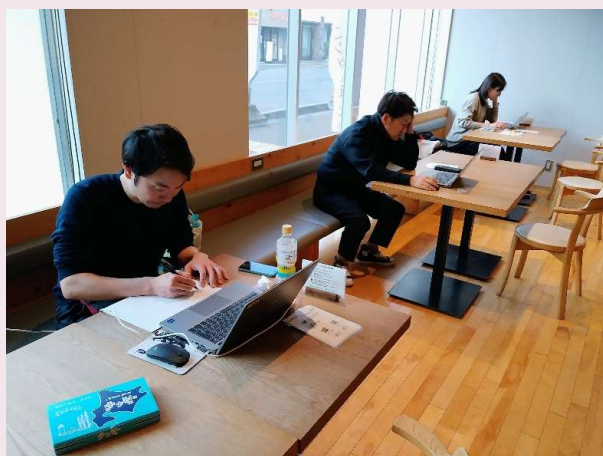
調査時点で、ワークेशनに関する**官民団体に参画**し、情報収集に努めているほか、「ワークेशनフラノ」**サイトやSNSを活用**し、ワークेशनの**体験談や関連情報の発信**を行っています。

令和5年度は、市内NPO法人が実施するコミュニケーション向上ワークショップや環境教育プログラムなど、**社員等の人材育成を目的としたワークेशन**に取り組んでいます。

親子ワークेशन事業にも取り組みつつある。

■ ワーケーション実証費用助成金

助成金による実証結果は、**実証助成金支給者52名へ124万円**の助成額に対し、**市内の消費額は356万7千円、約3倍の消費効果**を生み、市内外への消費効果も約3.65倍となり、本市でのワーケーション実証は、**市内及び周辺地域への消費効果が高い**ことが判明しました。



■ 説明を基に委員相互に議論を行い、主に4つの意見となりました。

ワークスペースなどの整備が必要ではないか？

訪問者と市民の接点を増やすためには、どのようなことができるか？

訪問者とのつながりを政策として生かすためには？

つながりを活かす仕組みづくりは？

■ 都市事例調査(視察)の実施

意見に対し、先進地事例等がないか調査を行い、**都市事例調査を行う**ことを決定し、次の**2自治体、4事業**を選びました。

岐阜県 飛騨市

- 飛騨市ファンクラブの取組について
- 関係案内所「ヒダスケ！」の取組について

栃木県 日光市

- 日光市サテライトオフィス等誘致戦略について
- スマートワークライフ#Nikkoについて

■ 飛騨市ファンクラブ・関係案内所「ヒダスケ！」の取組について

「飛騨市ファンクラブ」というファンクラブを創設して
関心を持ってくれている人を可視化し、飛騨市を訪れる人を増やしていく取り組みを視察。



■ 日光市サテライトオフィス等誘致戦略

・スマートワークライフ#Nikkoの取組について

サテライトオフィス誘致や、民間企業と連携して起業したい人を応援したり、地域資源や人材の発掘を行う取り組みを視察。



■ 視察報告書は、市議会ホームページでご覧ください

都市事例調査報告書



- 都市事例調査での知見を加え、最終的に4つの提言を行いました。
 - 1 ワークーションで訪れる方が安心してオンライン会議ができるなど配慮された場所の整備の検討の必要性について
 - 2 関係人口創出事業を行政と民間がともに担い、将来的には民間が主体的に活動できるような官民連携のプラットフォーム構築の必要性について
 - 3 飛騨市ファンクラブのように、誰でも入れて、特典が受けられるファンクラブ創設などの検討の必要性について
 - 4 関係人口創出事業が、富良野に住んでいる市民にとって幸福度が上がる事業展開にできるよう検討されたい

■ 提言の報告に際し、次のように意見を付しています。

調査の経過において、**観光の担当部署と企画の担当部署が垣根を超えて取り組んでいる様子**や**必要性を感じる**ことが多くあったため、富良野市においても、今後さらに**魅力ある関係人口創出事業の仕組みを作る上で、関係部署との連携は必要である、と付け加えて、報告**いたしました。

■ 調査報告書は、市議会ホームページでご覧ください

調査第5号報告書



調査第1号報告書

